

第10回

全国宅老所・グループホーム 研究交流フォーラム inしずおか

2006/

11|25 (土)



11|26 (日)



小規模多機能ケアで実現する・・・
私はこんなふうに暮らしたい!!

～この思いを叶えるための地域での支え合い暮らし合い～

会 場

グランシップ

(静岡県静岡市)



主催：「第10回全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラムinしずおか」実行委員会
宅老所・グループホーム全国ネットワーク
静岡県宅老所・グループホーム連絡協議会

■共 催 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会
地域サテライトケア推進プロジェクト
小規模多機能ホーム研究会

■趣 旨 今年で10回目を迎える本フォーラムは、1998年に開催した第1回目から「通って、泊まって、自宅にも来てくれて、いざとなったら住むこともできる」利用者主体のサービスのあり方を提唱してきました。

この宅老所の取り組みは、今年4月の介護保険改正で、「小規模多機能型居宅介護」として制度化され、その意義は社会に認められました。

今回のフォーラムでは、主役である当事者の声をお聴きしながら、宅老所や小規模多機能ケアの本来の姿を再確認し、地域とともに作り上げる生活支援のあり方について、活発に議論しあうことを目的に開催します。

■プログラム

【1日目／11月25日（土）】

11:00～	受 付	ポ ス タ ー 展 示
12:00～12:30	開会 「ようこそ静岡へ」 主催者挨拶 「第10回全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム in しずおか」 実行委員会 実行委員長 萩原 信 幸 （静岡県社会福祉協議会常務理事） 祝 辞 静岡県 知 事 石 川 嘉 延 静岡市 市 長 小 嶋 善 吉 静岡県社会福祉協議会 会 長 上 島 清 介 ビデオ上映 静岡県宅老所・グループホーム連絡協議会	
12:30～13:15	発題講演1 「認知症の方の思いを知る」 天神オアシスクラブ 施設長 中 島 七 海	
13:15～14:00	発題講演2 「マイケアプランで実現する“私らしい暮らし”とは」 全国マイケアプラン・ネットワーク 代 表 島 村 八重子	
14:00～14:20	休 憩	
14:20～15:20	当事者としての私と家族が求めるもの ～利用する本人や家族が語る「その人らしい暮らし」と支援～ <div> 本人と家族の願いや思いを、宅老所ではどのように受け止め、実現してきたのでしょうか。ビデオを通じて、宅老所を利用している本人や家族の声をお聴きしながら、支援の本質とは何かを紐解きます。 </div> ☆発言者 宅老所を利用し、在宅生活を続けている本人や家族からのビデオメッセージ ☆鼎談 全国マイケアプラン・ネットワーク 代 表 島 村 八重子 静岡県宅老所・グループホーム連絡協議会 副代表 奥 田 真 美 静岡県立大学看護学部 教 授 佐 藤 登 美	

15:20～16:40	<p>一人ひとりの地域での暮らしの継続を支援してきた宅老所の選択 ～「小規模多機能型居宅介護」で小規模多機能ケアは実現するのか～</p> <div><p>今年4月に、いよいよ「小規模多機能型居宅介護」が施行されました。宅老所の取り組みをモデルとされた制度ですが、制度化になっても変わらない宅老所の本質を考えます。</p></div> <p>☆パネラー</p> <table><tr><td>しみんふくしの家八日町（滋賀県）</td><td>理事長</td><td>小 梶 猛</td></tr><tr><td>ぶどうの家（岡山県）</td><td>代 表</td><td>津 田 由起子</td></tr><tr><td>たすけあい佐賀（佐賀県）</td><td>代 表</td><td>西 田 京 子</td></tr><tr><td>厚生労働省老健局計画課認知症対策推進室</td><td>室長補佐</td><td>池 田 武 俊</td></tr></table> <p>☆コーディネーター</p> <table><tr><td>東北福祉大学総合福祉学部</td><td>教 授</td><td>高 橋 誠 一</td></tr></table>	しみんふくしの家八日町（滋賀県）	理事長	小 梶 猛	ぶどうの家（岡山県）	代 表	津 田 由起子	たすけあい佐賀（佐賀県）	代 表	西 田 京 子	厚生労働省老健局計画課認知症対策推進室	室長補佐	池 田 武 俊	東北福祉大学総合福祉学部	教 授	高 橋 誠 一	ポ ス タ ー 展 示
しみんふくしの家八日町（滋賀県）	理事長	小 梶 猛															
ぶどうの家（岡山県）	代 表	津 田 由起子															
たすけあい佐賀（佐賀県）	代 表	西 田 京 子															
厚生労働省老健局計画課認知症対策推進室	室長補佐	池 田 武 俊															
東北福祉大学総合福祉学部	教 授	高 橋 誠 一															
16:40～17:00	休 憩																
17:00～18:30	<p>特別シンポジウム</p> <p>「その人らしい暮らしが継続できる地域づくりを考える」 ～地域密着型サービスを生かしたまちづくり～</p> <div><p>介護保険改正において創設された「地域密着型サービス」では、市町村が事業者の指定や監督・指導を行なうようになり、市町村の役割がとても重要となりました。自治体と地域との連携したまちづくりについて考えます。</p></div> <p>☆シンポジスト</p> <table><tr><td>このゆびとーまれ（富山県）</td><td>副代表</td><td>西 村 和 美</td></tr><tr><td>静岡県宅老所・グループホーム連絡協議会</td><td>代 表</td><td>西 谷 祐 一</td></tr><tr><td>我孫子市（千葉県）</td><td>市 長</td><td>福 嶋 浩 彦</td></tr><tr><td>静岡市</td><td>市 長</td><td>小 嶋 善 吉</td></tr></table> <p>☆コーディネーター</p> <table><tr><td>宮城県社会福祉協議会（前宮城県知事）</td><td>会 長</td><td>浅 野 史 郎</td></tr></table>	このゆびとーまれ（富山県）	副代表	西 村 和 美	静岡県宅老所・グループホーム連絡協議会	代 表	西 谷 祐 一	我孫子市（千葉県）	市 長	福 嶋 浩 彦	静岡市	市 長	小 嶋 善 吉	宮城県社会福祉協議会（前宮城県知事）	会 長	浅 野 史 郎	
このゆびとーまれ（富山県）	副代表	西 村 和 美															
静岡県宅老所・グループホーム連絡協議会	代 表	西 谷 祐 一															
我孫子市（千葉県）	市 長	福 嶋 浩 彦															
静岡市	市 長	小 嶋 善 吉															
宮城県社会福祉協議会（前宮城県知事）	会 長	浅 野 史 郎															
19:30～21:00	懇親会（ホテルアソシア静岡ターミナル）																

【2日目／11月26日（日）】

<p>9:30～11:30</p>	<p>〔第1分科会〕暮らしを支え続ける小規模多機能ホームの『質』を考える</p> <div> <p>本人とその家族の支援を中心とした小規模多機能ホームの取り組みやその想いを語っていただき、制度化になってもかわらない「地域で自分らしく暮らす」ことを支援する小規模多機能ホームのケアについて考えます。</p> </div> <p>☆パネラー</p> <table> <tr> <td>あべさん家（山形県）</td><td>代 表</td><td>阿 部 昭 典</td></tr> <tr> <td>グループホームしおんの家（富山県）</td><td>代 表</td><td>山 田 和 子</td></tr> <tr> <td>かくれんぼ（愛知県）</td><td>代 表</td><td>水 野 千恵子</td></tr> </table> <p>☆サポーター</p> <table> <tr> <td>静岡県社会福祉協議会事業部</td><td>部 長</td><td>天 野 正 之</td></tr> </table> <p>☆コーディネーター</p> <table> <tr> <td>ジャーナリスト</td><td></td><td>泉 田 照 雄</td></tr> </table>	あべさん家（山形県）	代 表	阿 部 昭 典	グループホームしおんの家（富山県）	代 表	山 田 和 子	かくれんぼ（愛知県）	代 表	水 野 千恵子	静岡県社会福祉協議会事業部	部 長	天 野 正 之	ジャーナリスト		泉 田 照 雄				
あべさん家（山形県）	代 表	阿 部 昭 典																		
グループホームしおんの家（富山県）	代 表	山 田 和 子																		
かくれんぼ（愛知県）	代 表	水 野 千恵子																		
静岡県社会福祉協議会事業部	部 長	天 野 正 之																		
ジャーナリスト		泉 田 照 雄																		
	<p>〔第2分科会〕誰もが自分らしく、地域の中で暮らすことを考える</p> <div> <p>障害の有無や年齢に関わらず、地域の中で誰もが自分らしく住み続けることを支援する「地域共生ホーム」が全国でも増えつつあります。その支援のあり方や自治体との協働について考えあいます。</p> </div> <p>☆パネラー</p> <table> <tr> <td>グループホームクラシオン（静岡県）</td><td>代 表</td><td>稲 葉 雅 之</td></tr> <tr> <td>小規模共生型デイサービス</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>「りびんぐ」（岐阜県）</td><td>代 表</td><td>山 下 ちはる</td></tr> <tr> <td>富士宮市地域包括支援センター（静岡県）</td><td>センター長</td><td>土 屋 幸 己</td></tr> </table> <p>☆コーディネーター</p> <table> <tr> <td>静岡福祉大学短期大学部介護福祉学科</td><td>教 授</td><td>平 田 厚</td></tr> </table>	グループホームクラシオン（静岡県）	代 表	稲 葉 雅 之	小規模共生型デイサービス			「りびんぐ」（岐阜県）	代 表	山 下 ちはる	富士宮市地域包括支援センター（静岡県）	センター長	土 屋 幸 己	静岡福祉大学短期大学部介護福祉学科	教 授	平 田 厚	<p>ポ ス タ ー 展 示</p>			
グループホームクラシオン（静岡県）	代 表	稲 葉 雅 之																		
小規模共生型デイサービス																				
「りびんぐ」（岐阜県）	代 表	山 下 ちはる																		
富士宮市地域包括支援センター（静岡県）	センター長	土 屋 幸 己																		
静岡福祉大学短期大学部介護福祉学科	教 授	平 田 厚																		
	<p>〔第3分科会〕「自宅や地域で暮らし続ける」最期まで支えるための医療との連携</p> <div> <p>介護・看護・医療の専門職が連携をして、最期まで自宅や地域での暮らしを支えてきた実践をもとに、実際に宅老所での看取りを希望している家族の声をお聴きしながら、それぞれの協働や支援のあり方について考えあいます。</p> </div> <p>☆パネラー</p> <table> <tr> <td></td><td>利用者家族</td><td>調 整 中</td></tr> <tr> <td>おざいしょ（静岡県）</td><td>代 表</td><td>安 達 美由紀</td></tr> <tr> <td>訪問ボランティアナースの会</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>「キャンナス」（神奈川県）</td><td>代 表</td><td>菅 原 由 美</td></tr> <tr> <td>レシャード医院（静岡県）</td><td>院 長</td><td>レシャード・カレッド</td></tr> </table> <p>☆コーディネーター</p> <table> <tr> <td>富山大学医学部</td><td>教 授</td><td>炭 谷 靖 子</td></tr> </table>		利用者家族	調 整 中	おざいしょ（静岡県）	代 表	安 達 美由紀	訪問ボランティアナースの会			「キャンナス」（神奈川県）	代 表	菅 原 由 美	レシャード医院（静岡県）	院 長	レシャード・カレッド	富山大学医学部	教 授	炭 谷 靖 子	
	利用者家族	調 整 中																		
おざいしょ（静岡県）	代 表	安 達 美由紀																		
訪問ボランティアナースの会																				
「キャンナス」（神奈川県）	代 表	菅 原 由 美																		
レシャード医院（静岡県）	院 長	レシャード・カレッド																		
富山大学医学部	教 授	炭 谷 靖 子																		

	<div>〔第4分科会〕小規模多機能型居宅介護と自治体の役割</div> <div>地域密着型サービスの創設により、市町村は指定権者として、地域福祉を主体的に考えることが求められるようになりました。地域密着型サービスへの支援のあり方と市町村の役割とについて考えます。</div> <div>☆パネラー</div> <table><tr><td>介護ホーム・わたしのうち（静岡県）</td><td>代 表</td><td>藤 下 品 子</td></tr><tr><td>小規模ケアネットワーク鹿児島</td><td>代 表</td><td>黒 岩 尚 文</td></tr><tr><td>静岡市保健福祉局福祉部介護保険課</td><td>課 長</td><td>成 岡 敏 雄</td></tr><tr><td>滋賀県東近江地域振興局地域健康福祉部</td><td>副部長</td><td>北 川 憲 司</td></tr></table> <div>☆コーディネーター</div> <table><tr><td>日本福祉大学社会福祉学部</td><td>教 授</td><td>平 野 隆 之</td></tr></table>	介護ホーム・わたしのうち（静岡県）	代 表	藤 下 品 子	小規模ケアネットワーク鹿児島	代 表	黒 岩 尚 文	静岡市保健福祉局福祉部介護保険課	課 長	成 岡 敏 雄	滋賀県東近江地域振興局地域健康福祉部	副部長	北 川 憲 司	日本福祉大学社会福祉学部	教 授	平 野 隆 之	ポ ス タ ー 展 示	
介護ホーム・わたしのうち（静岡県）	代 表	藤 下 品 子																
小規模ケアネットワーク鹿児島	代 表	黒 岩 尚 文																
静岡市保健福祉局福祉部介護保険課	課 長	成 岡 敏 雄																
滋賀県東近江地域振興局地域健康福祉部	副部長	北 川 憲 司																
日本福祉大学社会福祉学部	教 授	平 野 隆 之																
<div>〔第5分科会〕住民と作り上げるこれからの地域福祉サービスの実践</div> <div>当事者や地域住民が自ら行動し、ともに支えあうといった、地域に根ざしたサービスとはいったいどのようなものでしょうか。実践者や研究者、行政のそれぞれの立場から地域福祉のあり方について考えます。</div> <div>☆パネラー</div> <table><tr><td>井戸端げんき（千葉県）</td><td>代 表</td><td>伊 藤 英 樹</td></tr><tr><td>たすけあい遠州（静岡県）</td><td>代 表</td><td>稲 葉 ゆり子</td></tr><tr><td>静岡県健康福祉部地域福祉室</td><td>主 幹</td><td>杉 山 泰 裕</td></tr><tr><td>住民流総合福祉研究所</td><td>所 長</td><td>木 原 孝 久</td></tr></table> <div>☆サポーター</div> <table><tr><td>全国社会福祉協議会地域福祉部</td><td>副部長</td><td>高 橋 良 太</td></tr></table> <div>☆コーディネーター</div> <table><tr><td>静岡大学人文学部</td><td>教 授</td><td>日 詰 一 幸</td></tr></table>	井戸端げんき（千葉県）	代 表	伊 藤 英 樹	たすけあい遠州（静岡県）	代 表	稲 葉 ゆり子	静岡県健康福祉部地域福祉室	主 幹	杉 山 泰 裕	住民流総合福祉研究所	所 長	木 原 孝 久	全国社会福祉協議会地域福祉部	副部長	高 橋 良 太	静岡大学人文学部	教 授	日 詰 一 幸
井戸端げんき（千葉県）	代 表	伊 藤 英 樹																
たすけあい遠州（静岡県）	代 表	稲 葉 ゆり子																
静岡県健康福祉部地域福祉室	主 幹	杉 山 泰 裕																
住民流総合福祉研究所	所 長	木 原 孝 久																
全国社会福祉協議会地域福祉部	副部長	高 橋 良 太																
静岡大学人文学部	教 授	日 詰 一 幸																
11:30～11:45	移 動・休 憩																	
11:45～12:30	<div>〔実践報告〕 静岡県内実践報告リレー</div> <div>ポスター展示を行なっている静岡県内のグループホームや宅老所の取り組みを報告します（分科会が行なわれた部屋で報告が行なわれます）。</div>																	
12:30～13:30	昼 食・休 憩																	

13:30～15:30	<p>まよめのセッション 「住み慣れた地域で自分らしく暮らす」 ～小規模多機能ホームの今後を考える～</p> <div> <p>住み慣れた地域で暮らすことにこだわり、支援してきた小規模多機能ホーム。本人や家族、そして地域とともに進化する小規模多機能ホームの今後を考えあいます。</p> </div> <p> 託老所あんき（愛媛県） 代 表 中 矢 暁 美 地域ボランティア沖代すずめ（大分県） 代 表 吉 田 日出子 全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池 田 昌 弘 静岡県健康福祉部長寿健康政策室 室 長 黒 木 秀 樹 厚生労働省老健局 調 整 中 ☆コーディネーター 福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネット 志の縁結び係 国際医療福祉大学 教 授 大 熊 由紀子 </p>	
15:30～15:40	閉 会	

■参加定員 1,000人

■参加費 12,000円

■参考資料代 3,000円
(宅老所・グループホーム全国ネットワーク会員：1,000円／1会員一人のみ)

■申し込みに関する問い合わせ先

JTB団体旅行仙台支店

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町3-6-1 佐々重ビル6階

TEL：022-263-6712 FAX：022-263-6693

担当：鈴木・阿部

※受付時間：平日／9：30～17：30 土・日・休日／休み

■内容に関する問い合わせ先

「第10回全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム in しずおか」実行委員会

担当：國分・岡宗

〒981-0954 宮城県仙台市青葉区川平5-3-18-207（CLC 東日本内）

TEL：022-719-9240 FAX：022-719-9251